

いまだどきの歴史

一番新しい日本のページ

マルチメディア鎖国時代?

ミリオンセラー不毛時代をつくったのは不正コピーする不届き者か音楽業界か?

この人たちのアルバムは
クワアルバムじゃないと
思います...



最近、コピーガードされているCDやパソコンでは再生できないCDが増えている。その数はメーカーが公表していないため明らかでないが、すでに100万枚にのぼるとか。もちろんその目的はCDの不正コピーを防止し、利権を守ること。でも、ちょっと待て。音楽を個人的な使用目的でデジタルコピーするのは合法じゃなかった? パソコンで自分のオリジナルCDをつくったり、MP3プレーヤーにお気に入りの曲を詰めて持ち歩いたりするのも音楽鑑賞の大きな楽しみのひとつ。その権利まで奪い取ってしまうのは、個人の権利の侵害だ。音楽業界からミリオンセラーが消えつつある今、レーベル側は「CDの不正コピーやネット配信が原因」と考えている。しかし、筆者は好きなアルバムを必ず手元に置く主義だぞ。アルバムの中に聴きたい曲が1~2曲しかないようなクソアルバムをつくるレーベルにも責任があると思うし、他国に比べてCDが高すぎるのも原因だと思うんだが?

「笑、ていいとも!」ぞ山本コタロー氏と
からんでた頃が懐しい



京都に田中効果を!

日本政治の縮図を垣間見せてくれた
長野知事選挙から学ぶべきものは何?

「脱ダム宣言」を発したところ、またたく間に県議会を敵に回し、全国で初の不信任案を突きつけられた田中康夫氏が、再選挙で勝利。再び知事の職に就くことになった。この騒動は民意と官意の温度差を如実に表していると思う。そして、政治家ならぬ政治屋の利権構造を浮き彫りにした。さて、そんな田中康夫氏が掲げている福祉対策の一環に「宅幼老所」というのがある。これは県内各地にある古い家を改装し、老人が集うのと同時に0歳児からの子どもも預かるという二毛作型の施設だ。保育士や介護士の資格をもつスタッフのもと、老人がまるで自宅のようにくつろげる空間で子供たちと一緒に過ごす施設...廃校になった小学校の跡地に巨額の税金を投入し、冷たいコンクリートの福祉施設を次々と建てている京都市街とはまるで違った素晴らしい発想だと思う。京町家を飲食店に改装するという民間の発想も面白いけど、福祉関係に使ってみるのもひとつ検討の余地があるのではないだろうか?

お願い、返して!
巨額の公金横領事件で肩身が狭いのは
なぜか被害者、そしてニッポン人

自叙伝でも出してると儲けしてくれないかな...
その売り上げから返して頂くといいのは?



文◎大塚 祐希

1200年の古都・京都から、突然5000年前の超古都・イスラエルに渡り情報を発信中。一步距離を置いたところから今の日本、そして京都の今を見つめ、未来を切り開くことができるか? ウェブサイトは <http://www1.ocn.ne.jp/tsukapon/>



イラスト◎両口 和史

1967年京都市生まれ。京都精華大学美術学部卒業。北山のオフィスにて様々なキャラクターやイラスト制作をおこなうユニット「キャトル・イラストレーション」のチーフ。猫、フランス車、家具、雑貨、レコード、本、おもちゃ、平日の公園。それらがイラストを構成するエッセンスである。HP◎<http://www.d1.dion.ne.jp/ryoguchi>